

## 第4 1回熊本市小学生軟式野球大会要項

- 1 目的 青少年スポーツ振興施策の一環として、スポーツ技能の向上を図るとともに、児童相互の親睦交流を図る。
- 2 主催 熊本市、熊本市軟式野球連盟
- 3 期 日 令和2年（2020年）8月29日（土）～10月の土・日・祝日開催（第一日曜日除く）  
※新型コロナウイルス感染拡大等で、大会を中止する場合もある。
- 4 会 場 市内各グラウンド
- 5 参加資格 (1) 熊本市内の小学校に在籍する児童で編成されていること。  
(2) 令和2年度（2020年度）熊本市軟式野球連盟に登録しているチームであること。  
(3) A・Bチームの監督、コーチの二重登録は認めない。  
※例）Aチームの監督がBチームのコーチへの登録は可。  
(4) 参加チームは、必ずスポーツ傷害保険等に加入していること。
- 6 チーム編成 (1) 部長1人、監督1人、コーチ2人以内、選手20人以内とする。  
(2) 6年生が21人以上いるチームは、A・Bチームで登録して出場できる。2チームの編成は、A・Bチームとも常時5名以上の6年生が試合に出場していること。  
(3) 単一学校チームで総部員が8人以下の場合は、近隣の同様条件のチームと合同で出場することを認める。その場合、選手は各学校のユニフォームを着用してもよい。
- 7 使用球 公認ケンコーJ号ボール
- 8 試合方法 (1) トーナメント法による。※初戦敗退のチームは、敗者戦（1試合のみ）を行う。  
(2) 試合は7回戦とする。  
(3) 試合時間は、1時間20分より新しいイニングに入らない。  
※決勝戦は、2時間00分より新しいイニングに入らない。  
(4) 7回完了もしくは、制限時間に達しても同点の場合は、無死1、2塁で試合を続行する。無死1、2塁の打者は継続打者とし、走者はその打者の前位の打者とする。無死1、2塁の状態が2回を完了しても決着がつかないときは、出場選手9人の抽選で勝敗を決定する。  
※ 決勝戦は、試合時間内であれば勝敗が決定するまでタイブレーク戦を続ける。  
(5) 5回以降7点差の場合は、コールドゲームとする。  
※ 決勝戦はコールドゲームを5回以降10点差の場合適用する。  
(6) 守備側のタイムは1試合に3回以内とする。なお、タイブレーク戦は1イニングに1回行くことができる。  
(7) 攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。なお、タイブレーク戦は1イニングに1回行くことができる。  
※ (6)、(7)とも相手側チームのタイム中の指示はカウントしない。ただし、タイムチームより時間が長い場合は、1カウントとなる。  
※ 代打の通告と投手交代の場合は、回数にカウントしない。  
(8) 投手の投球制限については、健康維持を考慮し、1人1日70球までとする。  
(9) 試合開始予定時刻前でも前の試合が終了した後20分で次の試合を開始する。試合時間になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。  
(10) ヘルメット、レガース、プロテクター、金属バットは全軟公認に限る。  
(11) 捕手用マスクには、スロートガードをつけること。
- 9 参加申込 令和2年（2020年）7月22日（水）までに参加申込書を提出すること。  
提出先：スポーツ振興課（熊本市役所8階）担当：永嶋英孝  
庁内メール（市立学校のみ）、FAX、郵送、持参にて提出すること。  
※参加申込書提出後の登録選手変更は、7月30日（木）まで受け付ける。
- 10 開会式兼代表者会議（抽選会）  
主催者による代理抽選を行う。  
組み合わせは、8月上旬頃、熊本市及び市軟野連ホームページに掲載する。

- 11 表 彰 優勝・・・優勝旗、優勝メダル、賞状  
準優勝・・・準優勝杯、準優勝メダル、賞状  
第3位・・・賞状
- 12 審 判 熊本市軟式野球連盟公認審判員  
原則として4回戦までは、各チームで塁審（審判講習会受講者）を協力すること。  
※塁審等は各チームから3名（塁審2名、投球数記録1名）
- 13 規 則 2020年度全日本軟式野球連盟規則並びに少年野球に関する取り決め事項を適用する。
- 14 注意事項
- (1) 監督・コーチは20歳以上の成人に限る。  
監督・コーチは、試合中、みだりにベンチを離れてはならない。
  - (2) 試合は小雨決行とし、必ず両チームとも球場に集合すること。
  - (3) 降雨による試合中止は、主催者及び審判員の判定により決定する。途中で試合を停止した場合は、期日を改めて継続試合とする。
  - (4) 応援団は選手の激励を旨とし、卑劣な応援は禁ずる。例えば、個人攻撃やバケツ等の使用はしない。また、ベンチ内の選手が声を合わせて応援することはできない。
  - (5) 故意または過失により会場施設を破損した場合、そのチームで弁償すること。
  - (6) 不正行為のあったチームは失格とする。
  - (7) 試合中の抗議（審判員の判定が規則の適用を誤って下された時）は、監督に限る。
  - (8) 試合中、場外に出たボールは、攻撃側のチームで処理すること。
  - (9) ベースコーチは、ユニフォーム着用の選手に限る。（ヘルメット着用）
  - (10) ベンチは、組み合わせ表の若番を1塁側とする。
  - (11) 試合中及び試合終了後、抗議等で激高のあまり審判員及び役員または相手チームへの暴言・暴力は、直ちにその選手の属するチームは失格とする（応援団を含む）。  
なお、そのチーム及び選手は今大会への出場・参加は一切認めない。
  - (12) 次の試合を行うチームの主将は、前の試合4回終了時、または、60分経過後に本部へメンバー表4部を提出すること。その際攻守決定を行う。
  - (13) 試合終了後直ちに、両チームで内野グラウンドを整備すること。
  - (14) ベンチ周りや応援席付近は、次のチームのために必ず清掃していくこと。
  - (15) 大会期間中に運動会、修学旅行、集団宿泊教室、授業参観、研究発表会等の学校行事がある場合は、別途主催者から配布される「第41回熊本市小・中学生軟式野球大会に伴う学校行事の調査について（回答）」を提出すること。※学校のみ提出（クラブチームは提出不要）  
※参加申込期日後及び学校行事以外の行事については日程調整を行わない。  
※日程調整の際、ご要望に沿えない場合がありますのでご了承ください。
  - (16) 申込書に記載された個人情報については、適切に管理し、本事業以外の目的で使用することはありません。
  - (17) 上記事項に定めのないものについては、主催者が協議のうえ決定する。
  - (18) プログラム印刷の関係上、添付の申込書以外は一切受け付けない。

《新型コロナウイルス感染防止対策》

各チームの代表者は、試合前に「感染防止対策チェックリスト(参加者用)」を提出してください。提出のないチームは不戦敗とします。